

中野 千秋ゼミナール【経営-8クラス】

【**題目**】経営人間学～より幸福な組織生活、より良い企業社会の構築を目指して～

【**到達目標**】3年次終了までに、卒論のテーマと基本構想を確定し、第1次ドラフト(下原稿)を完成させる。

【**講義内容**】人間がビジネスに奉仕すべきなのか、それともビジネスが人間に奉仕すべきなのか。本ゼミでは、現代社会における本来のビジネスのあり方を、人間学的な立場から問い直すことを目的とする。参加者各自の抱くビジネス社会に対する理想・希望・疑問・不安等を大切にし、自己の内面から発する問題意識に正面から取り組んでいただきたい。

本ゼミでは、以上のような主旨にのっとり、ゼミ生各自の知的関心を尊重しながら、2年がかりで卒論の作成に取り組んでもらう。3年次はじめに、良い発想をするための方法および社会科学の方法論に関する文献を読み、論文執筆に向けての基礎を学ぶ。そして、3年次前半のうちに卒論の仮テーマを設定し、各自の問題意識にしたがって様々な文献を広く読みあさっていく。

卒論のテーマは原則自由とするが、その分、自らの問題意識と知的関心を大切にし、自己の責任において最後まで自分自身に納得のいく卒論の作成を目指す学生の主体的参加が望まれる。

【授業計画】

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 問題の発見と問いの立て方(1)
- 第3回 問題の発見と問いの立て方(2)
- 第4回 社会科学の方法論(1)
- 第5回 社会科学の方法論(2)
- 第6回 卒論企画書の発表・提出
- 第7回 卒論中間報告1R-1
- 第8回 卒論中間報告1R-2
- 第9回 卒論中間報告1R-3
- 第10回 卒論中間報告2R-1
- 第11回 卒論中間報告2R-2
- 第12回 卒論中間報告2R-3
- 第13回 卒論中間報告3R-1
- 第14回 卒論中間報告3R-2
- 第15回 卒論中間報告3R-3

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的好奇心	◎
本質を理解する力	○
論理的に考える力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎
様々な人と対話する力	○
意志や情報を発信する力	○
自ら行動する力	○
自己を受け止める力	○
自信を生み出す力	◎

【**教科書**】野口悠紀雄『「超」発想法』講談社文庫

高根正昭『創造の方法学』講談社現代新書

【**参考文献**】必要に応じて個別に指示する。

【**評価方法**】出席状況、ゼミでのプレゼン、課題提出等による総合評価

【**履修の条件**】特になし

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】否

【**他学部生受入**】否

【**当該科目に関連する開設科目**】特になし

【**使用言語**】日本語

【**担当者からの一言**】大学生としての学問への取り組み方について、自由に、本音で、真面目に、楽しく議論し合えるゼミにしたいと思っています。